



仙台市GIGAスクールの方向性

これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む

- これからの高度に発展した情報化社会を、「たくましく」「しなやか」に生きるために、必要な資質・能力としての情報活用能力を育成します。
- 自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで児童生徒に豊かな創造性を育みます。

令和5～7年度（予定）

【SENDAI GIGA STEP 3】児童生徒が、自分の学びを広げるICT活用

- ① 学習eポータル、MEXCBT等による学習履歴データの蓄積・活用、先端技術の活用
- ② 社会教育・民間等、学校外の学びとの連携
- ③ 学習履歴を活かした指導の充実
- ④ 児童生徒の学びを蓄積したキャリア教育
- ⑤ 先端技術を活用した協働的な学び
- ⑥ 学校や他の施設・機関との連携
- ⑦ 教科を横断した探究的な学びに向けた教科横断的な取組

技術・時代の
変化に
あわせて
進化・修正

令和4年度～

【SENDAI GIGA STEP 2】児童生徒が、ICTを「当たり前・日常的」に活用

- ① 【学校】 端末、クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携）※学びの保障
- ② 【学校】 情報活用能力を発揮しながら、豊かな創造性を育むための「探究的な学び」の推進
- ③ 【学校】 自らの学びをより良くするための「個別最適な学び」と、「協働的な学び」の一体的な充実
- ④ 【学校】 情報活用能力を系統的に育成するための、カリキュラム・マネジメントの推進
- ⑤ 【学校】 プログラミング教育・STEAM教育・情報モラルや情報セキュリティ教育の推進
- ⑥ 【学校】 指導者用・学習者用デジタル教科書の利活用
- ⑦ 【教育委員会】 児童生徒の情報活用能力の実態把握と、学校現場に有用な情報の積極的な発信
- ⑧ 【教育委員会】 デジタル教材等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援（デジタル教科書、デジタルドリル、みやぎ情報活用ノート、StuDX Style、副教材のデジタル化等）
- ⑨ 【教育委員会】 MEXCBTや学習eポータルを利活用できるための環境整備や情報発信

情報活用能力の育成

教育課程の工夫や充実

令和3年度～

【SENDAI GIGA STEP 1】児童生徒が、ICT活用に慣れる

- ① 授業活用（まずは、触れる・使う）
- ② 日常での利用（教科以外）での活用
- ③ 端末持ち帰り練習（非常等の備え）
 - ・文字入力スキルの習得
 - ・カメラ機能の活用
 - ・クラウドサービスの基本的な使い方
 - ・教材・課題の配布・回収
 - ・動画や番組の視聴
 - ・アンケートの活用
 - ・学校行事での活用
 - ・オンライン授業の実施
 - ・家庭との連絡・連携
 - ・情報モラル等

学習指導要領が、目指す資質・能力を育成するため「4つの学び※1」を推進

児童生徒が、「全ての学習の基盤である情報活用能力」を身に付け、自分の力を発揮



※1「4つの学び」・「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」「学びの保障」